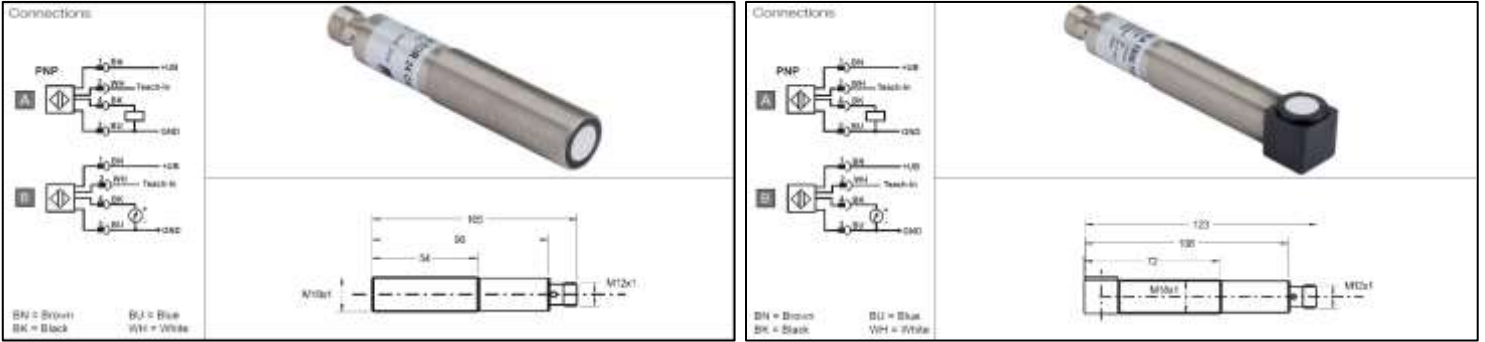


UPR-Aシリーズ



	UPR-A 1500 TVPA 24 C	UPR-A 1500 TOR 24 CAI
	UPR-A 1500 TVPA 24 CW (アングルタイプ)	UPR-A 1500 TOR 24 CWA (アングルタイプ)
検出範囲	120～1500mm	
セッティング	2ピンによるティーチン	
サンプリング周波数	～5Hz	～30Hz
電圧	11～30VDC	
リップル電圧	10%	
超音波周波数	180Hz	
消費電流	～45mA	～65mA
バイナリ出力	PNP(NO/NC) 最大100mA (NPN仕様も生産可)	×
アナログ出力	×	0～10Vまたは4～20mA (自動検出)
負荷抵抗	×	10kΩ～(U-out) ～400Ω(I-out)
分解能	0.5mm	
使用温度範囲	0℃～60℃	
対応圧力範囲	90～110kPa	
IP	IP67	
ハウジング素材	真鍮ニッケルメッキ	
コネクタ	M12x1 4ピン	
規格認証	CE	

ティーチイン機能によりPNPまたはNPN検出範囲を設定する方法	
①	ターゲットを任意の検出範囲始点(近)に設置する。
②	2ピンワイヤに+または-電源を1～5秒接続し、イエローLEDがゆっくり点滅することを確認してから電源を外す。
③	ターゲットを任意の検出範囲終点(遠)に設置する。
④	2ピンワイヤに+または-電源を1～5秒接続し、イエローLEDがゆっくり点滅することを確認してから電源を外す。

ティーチイン機能によりアナログ検出範囲を設定する方法	
①	任意の10Vまたは20mA地点を定め、ターゲットを設置する。
②	2ピンワイヤに+電源を1～5秒接続し、イエローLEDがゆっくり点滅することを確認してから電源を外す。
③	任意の0Vまたは4mA地点を定め、ターゲットを設置する。
④	2ピンワイヤに-電源を1～5秒接続し、イエローLEDがゆっくり点滅することを確認してから電源を外す。

ティーチイン機能により検出範囲モードを切り替える方法	
小検出範囲モード(～850mm):	2ピンワイヤに-電源を5～10秒接続し、イエローLEDがすばやく点滅することを確認してから電源を外す。
中検出範囲モード(～1000mm)	2ピンワイヤに-電源を10～15秒接続し、イエロー/レッドLEDがすばやく点滅することを確認してから電源を外す。
大検出範囲モード(～1500mm)	2ピンワイヤに-電源を15～20秒接続し、レッドLEDがすばやく点滅することを確認してから電源を外す。

ティーチイン機能により回帰反射モードに変更する方法 ※回帰反射モードとは、ターゲットの面の角度が浅く超音波が反射しないため検知できない場合に使用します。 ※あらかじめ超音波の反射範囲を設定し、その範囲内でターゲットが干渉し超音波の反射が途切れた場合に検知します。	
①	任意の超音波反射位置に反射板を設置する。
②	2ピンワイヤに+電源を5～10秒接続し、イエローLEDがすばやく点滅することを確認してから電源を外す。

ティーチイン機能により工場出荷時の設定に戻す方法	
①	2ピンワイヤに-電源を接続し、20秒待機する。
②	LEDが消灯することを確認し、電源を外す。